

News Release

2019年7月25日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

家の外で起きる事故から子どもを守る ～正しく使って、しっかり教えましょう～

1. 事故の発生状況

北海道では、0歳から14歳までの屋外の子どもの事故は、2009年度から2018年度までの10年間に合計12件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数 (2009～2018年度)

発生年度	合計
2009年度	3
2010年度	3
2011年度	3
2012年度	1
2013年度	0
2014年度	0
2015年度	1
2016年度	0
2017年度	0
2018年度	1
合 計	12

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2009～2018年度）※1

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	4
	軽傷	8
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	0
被害なし		0
合計		12

(※1) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

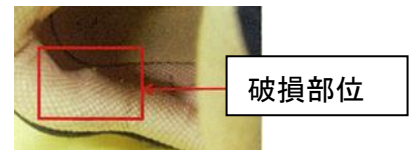
(1) 靴（スニーカー、幼児用）

○2010年9月（北海道、3歳・女子、軽傷）

事故内容：幼児が靴を履いたところ、右足くるぶしの下に切り傷を負った。

事故原因：保護者が幼児に靴を履かせている際、幼児が踵上辺部を踏んでいたため、樹脂製の踵保護プレートが破損し、足を傷つけたものと推定される。

なお、取扱説明書には「シューズのかかと部分は絶対に踏まない」旨の注意事項が記載されていた。



(2) 自転車

○2015年5月（北海道、11歳・男子、軽傷）

事故内容：子どもが自転車で走行中、サドルの固定部が破損し、転倒をして軽傷を負った。

事故原因：サドル固定用ボルトの締め付けが不足していたため、当該ボルトに過大な繰り返し負荷が加わり、疲労破壊を起こし破断したことから、サドルの固定部が破損したものと推定される。



3. 子どもの事故を防ぐためのポイント

子どもの事故は保護者が注意をすることで防げる事故も多いため、保護者は次のようなことを心がけましょう。

- ① 保護者が取り扱い説明書をしっかりと読む。
- ② 正しい製品の使い方を把握し、子どもに注意点を伝える。

③ 子どもに注意を向ける。

また、自転車の事故は、事前の点検等を行うことで防げる場合もあるので、定期的に点検をした上で安全な乗り方をするように子どもに教えましょう。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:大井、下川

電話:011-709-2324